

アレルギー疾患に関する児童施設調査（概要版）

- 調査目的
 - ・ 保育所等（以下「児童施設」という。）におけるアレルギー疾患を持つ子供の状況を把握する
 - ・ 児童施設職員のアレルギー疾患対策に対する要望を把握する
- 調査対象

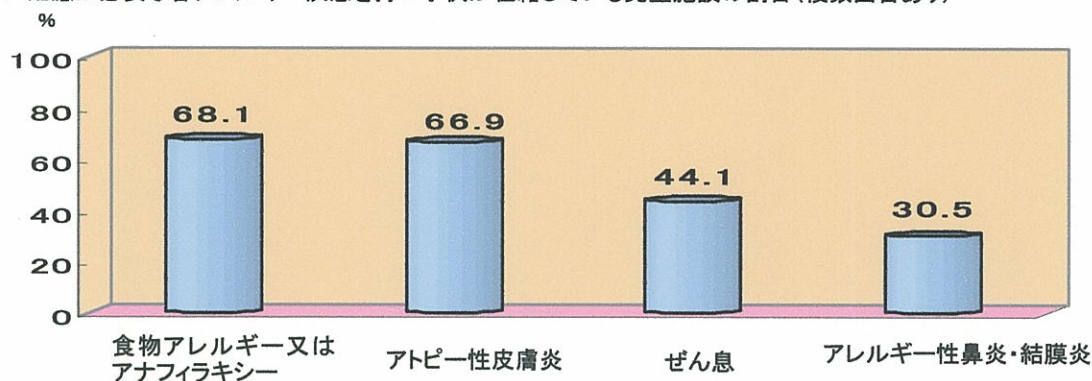
都内に所在する認可保育所、認証保育所、幼稚園（平成 21 年 10 月現在 3,206 施設）
- 調査方法

無記名による自記式調査票を郵送で配布・回収
- 有効回答数

2,089 施設（有効回答率 65.2%）
- 主な調査内容
 - ・ 基本項目：施設種別、施設名、運営主体、所在地、在籍児童数、職種別職員数
 - ・ アレルギー疾患*のり患状況・把握状況
 - ※ぜん息、食物アレルギー、アナフィラキシー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎
 - ・ アレルギー疾患を持つ子供への配慮、指導状況
 - ・ ぜん息、食物アレルギー、アナフィラキシーなどの緊急時対応
 - ・ 職員のアレルギー疾患に関する研修への参加状況
 - ・ アレルギー疾患に関する意見・要望

1 配慮が必要なアレルギー疾患を持つ子供が在籍している児童施設の割合

図 1 配慮が必要な各アレルギー疾患を持つ子供が在籍している児童施設の割合（複数回答あり）

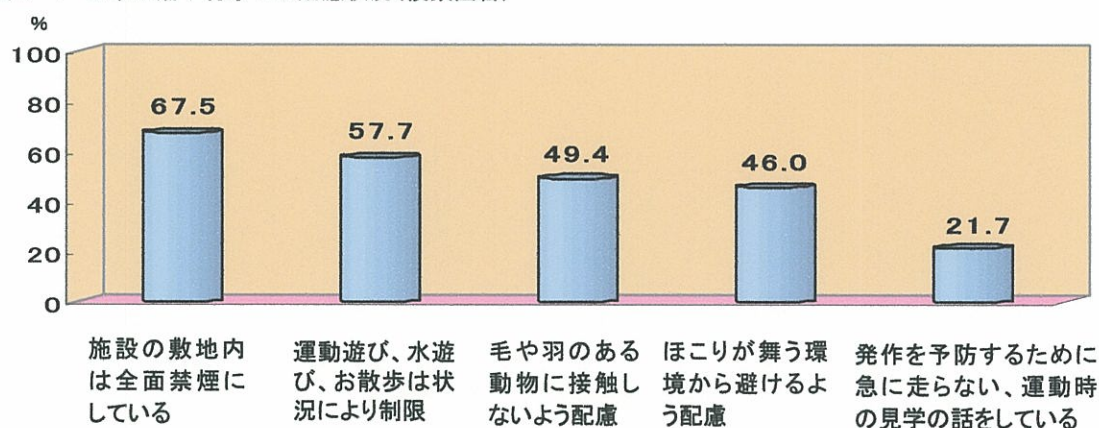


2 緊急対応を要する疾患を持つ子供への配慮や対応

< ぜん息 >

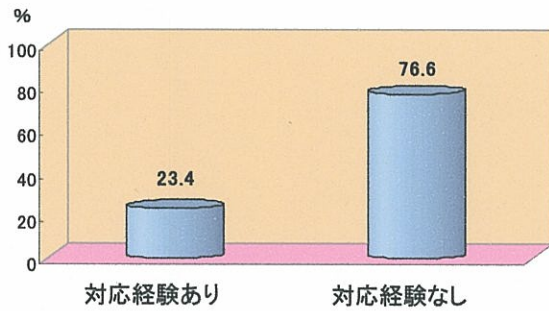
施設内を全面禁煙にしている児童施設の割合は 67.5%

図 2-1 日常生活や行事での配慮状況（複数回答）



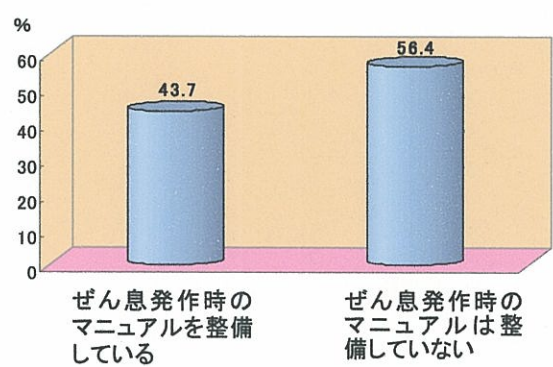
過去 1 年にぜん息発作を起こした子供への対応経験がある児童施設の割合は 23.4%

図 2-2 過去 1 年にぜん息発作を起こした子供への対応経験



マニュアルの整備をしている児童施設の割合は 43.7%

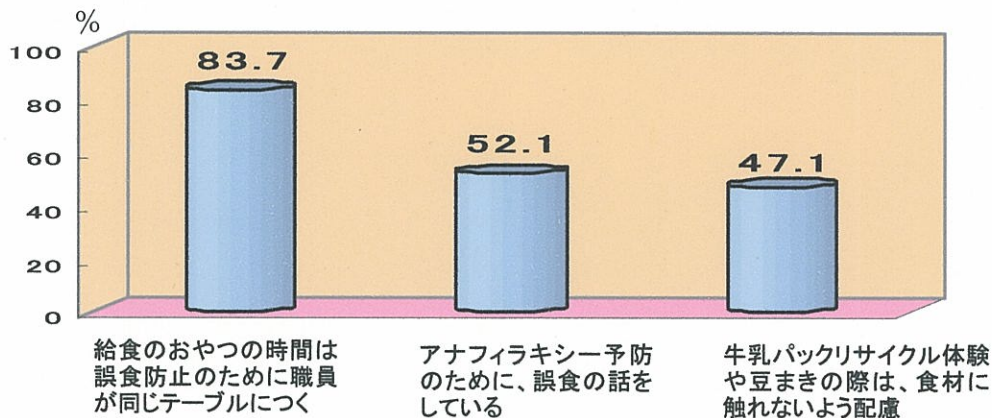
図 2-3 ぜん息発作時の対応マニュアル整備状況



< 食物アレルギー >

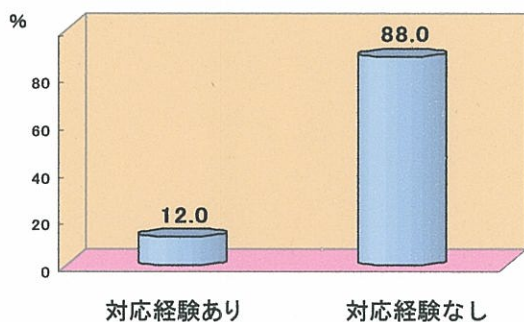
誤食防止のために職員が同じテーブルに付いている児童施設は 83.7%

図 3-1 児童施設における、日常生活や行事での配慮



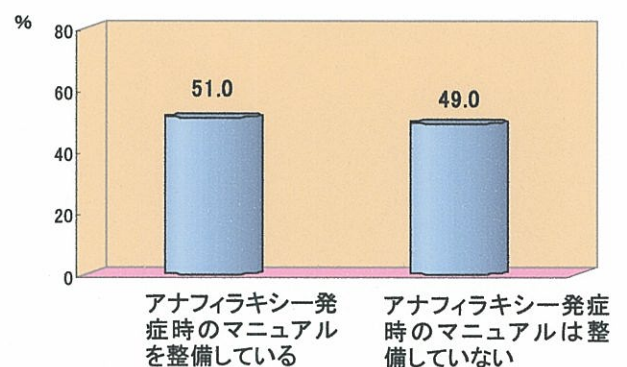
過去 3 年にアナフィラキシーを起こした子供への対応経験がある児童施設は 12.0%

図 3-2 過去 3 年にアナフィラキシーを起こした子供への対応経験



マニュアルの整備をしている児童施設の割合は 51.0%

図 3-3 アナフィラキシー発症時の対応マニュアル整備状況



3 行政に対する意見や要望

行政に対する意見や要望が多かったもの

- アレルギー疾患に関する研修や講習会の開催
- マニュアルやガイドラインの作成